

新興VC投資先 株式公開始まる

相場低迷で採算は厳しく

新興VCが投資した主な企業の株式公開

投資先企業名	第一回目 の投資時期	公開時期
イメージワン <small>ジパロ ロー投資 ローン ノエス クチェン チェン 本ベナ ロート 事業組</small>	98年12月	2000年9月
タイル マルチ タイル マルチ タイル マルチ	99年11月	2000年11月
アイ・シー・エフ アイ・シー・エフ	2000年3月	2000年10月
メディアシーク メディアシーク	2000年4月	2000年12月
ネクストウェア ネクストウェア	99年2月	2000年12月
鷹山 鷹山	98年12月	2000年9月

浅井武夫社長は同年十二月に半導体開業の鷹山に投資、鷹山は二〇〇〇年九月、店頭市場に登録した。ワネルは店頭登録後に保有株の半分を売却し、七千万円強のキャピタルゲインを確保した。ただネット関連企業の株価が

一九九〇年代後半に相次

ぎ創業した独立系の新興ベンチャーキャピタル(VC)の投資を受けたベンチャー

企業が株式公開し始めた。

新興企業向け株式市場の公開準備が必要な年数

多く、公開準備に必要な年数

が大幅に短くなったことが

背景にある。ただ、株式相

場の低迷を受け、当初見込

んだ株式値上がり益(キャピタルゲイン)が得られな

い例が目立ち、採算面では

厳しい状況にある。

九九年九月設立のVC、
アイシービー(東京・港、

穂田凱雄社長)は二〇〇〇

年三月、電子商取引市場構

築のアイ・シー・エフに投

資した。同社は同年十月、

マザーズに上場した。二〇

〇〇年二月設立のネットキ

ャピタル・パートナーズ(東

京・世田谷、江見淳社長)

が同年四月に投資したネッ

トビジネスコンサルティン

グのメディアシークも十二

月にマザーズに上場した。

キャピタルゲインを得たVCも出始めている。九八年六月設立のワネルインベストメント(東京・新宿、

低送しており、投資先企業

の株式を株式公開後も保有

し続けるVCも多い。

二〇〇〇年はベンチャー

ファンドの設立が相次いだ

ことから今後も、新興VC

が投資した企業の公開が増

える見通し。だが、投資先

企業が株式公開を延期する

例が増えているうえ、公開

時の株価が当初見込みより

落ち込んでいる。今後、新興VCは投資先企業への経営指導や提携先紹介など企業価値を高める手腕が問わ

れそうだ。